

教科： <u>地理歴史</u>	科目 <u>地理総合</u>	単位数： <u>2</u> 単位
◆対象学年組：第 1 学年 A 組～	E 組	
◆使用教科書（ <u>高等学校 新地理総合</u>		）
◆教科 <u>地理歴史</u>	の目標：	

【知 識 及 び 技 能】： 現代世界の地域的特色と日本及び世界について理解し、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身につける。

思考力、判断力、表現力等】： 地理や歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、議論する力を養う。

学びに向かう力、人間性等】： 地理や歴史の諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

◆科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	地図や地理情報システムと現代世界 位置や分布などに着目して、課題を追及したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	1 地球上の位置と私たちの生活 2 時差と私たちの生活 3 地球儀と地図 4 身の回りの地図	【知識・技能】 ①緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について理解している。 【思考・判断・表現】 ②緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○		7
	地図や地理情報システムと現代世界 位置や分布などに着目して、課題を追及したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	1 地理情報システム（GIS）の利用 2 現代世界の国家 3 日本の位置や領域	【知識・技能】 ①地理情報システム（GIS）のしくみやこれを支える技術、GISの活用場面について理解しており、基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ②地理情報システム（GIS）のしくみやこれを支える技術、GISの活用場面について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③地理情報システム（GIS）のしくみやこれを支える技術、GISの活用場面について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考查	1 地球上の位置と私たちの生活 2 時差と私たちの生活 3 地球儀と地図 4 身の回りの地図 1 地理情報システム（GIS）の利用 2 現代世界の国家 3 日本の位置や領域		○	○	○	1
	地球的課題と国際協力 空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追及したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	1 国家間の結び付き 2 貿易によって結び付く世界 3 さまざまな交通網の発達	【知識・技能】 ①暮らしを支える貿易、貿易の変化と国際分業の成立、自由化する世界の貿易について理解している。 【思考・判断・表現】 ②暮らしを支える貿易、貿易の変化と国際分業の成立、自由化する世界の貿易について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③暮らしを支える貿易、貿易の変化と国際分業の成立、自由化する世界の貿易について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	7
	地球的課題と国際協力 空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追及したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	1 世界を結ぶ通信網の発達 2 観光のグローバル化	【知識・技能】 ①通信技術の発達と一体化する世界、情報通信技術の発達で変化する生活行動、情報通信技術が生み出す格差について理解している。 【思考・判断・表現】 ②通信技術の発達と一体化する世界、情報通信技術の発達で変化する生活行動、情報通信技術が生み出す格差について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③通信技術の発達と一体化する世界、情報通信技術の発達で変化する生活行動、情報通信技術が生み出す格差について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考查	1 国家間の結び付き 2 貿易によって結び付く世界 3 さまざまな交通網の発達 1 世界を結ぶ通信網の発達 2 観光のグローバル化		○	○		1
2 学 期	生活文化の多様性と国際理解 場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追及したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	1 人々をひきつける多様な自然環境 2 自然環境を生かした産業と人々の生活	【知識・技能】 ①自然環境を生かした農業と食生活、自然環境を生かしたオーストラリアの鉱工業について理解している。 【思考・判断・表現】 ②自然環境を生かした農業と食生活、自然環境を生かしたオーストラリアの鉱工業について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③自然環境を生かした農業と食生活、自然環境を生かしたオーストラリアの鉱工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	生活文化の多様性と国際理解 場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追及したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	1 モンスーンの影響を受けてきた人々の生活 2 気候を生かした農業と人々の生活	【知識・技能】 ①季節風（モンスーン）を生かした稲作と米食文化、熱帯の気候を生かした商品作物の栽培について理解している。 【思考・判断・表現】 ②季節風（モンスーン）を生かした稲作と米食文化、熱帯の気候を生かした商品作物の栽培について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③季節風（モンスーン）を生かした稲作と米食文化、熱帯の気候を生かした商品作物の栽培について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考查	1 人々をひきつける多様な自然環境 2 自然環境を生かした産業と人々の生活 1 モンスーンの影響を受けてきた人々の生活 2 気候を生かした農業と人々の生活		○	○	○	1
	生活文化の多様性と国際理解 場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追及したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	1 イスラームを中心とした生活文化 2 乾燥地域で暮らすムスリムの生活文化 3 変化するムスリムの生活	【知識・技能】 ①ムスリムの生活、三つの言語集団と生活習慣の地域差について理解している。 【思考・判断・表現】 ②ムスリムの生活、三つの言語集団と生活習慣の地域差について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③ムスリムの生活、三つの言語集団と生活習慣の地域差について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6

	生活文化の多様性と国際理解 場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	1 ヨーロッパ社会の影響が強い文化 2 大土地所有制が生み出した社会構造 3 外国資本による工業化と生活の変化	【知識・技能】 ①ラテンアメリカの成り立ちとラテン文化の形成、地域で異なる民族構成について理解している。 【思考・判断・表現】 ②ラテンアメリカの成り立ちとラテン文化の形成、地域で異なる民族構成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③ラテンアメリカの成り立ちとラテン文化の形成、地域で異なる民族構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査	1 イスラームを中心とした生活文化 2 乾燥地域で暮らすムスリムの生活文化 3 変化するムスリムの生活 1 ヨーロッパ社会の影響が強い文化 2 大土地所有制が生み出した社会構造 3 外国資本による工業化と生活の変化		○	○	○	1
3 学 期	自然環境と防災 人間と自然環境との相互依存関係や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	1 多様な地球環境問題 2 熱帯林の破壊への対策 3 地球温暖化への対策	【知識・技能】 ①地球環境問題の種類、地球環境問題の背景について理解している。 【思考・判断・表現】 ②地球環境問題の種類、地球環境問題の背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③地球環境問題の種類、地球環境問題の背景について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	自然環境と防災 人間と自然環境との相互依存関係や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	1 さまざまな気象災害 2 気象災害への取り組み	【知識・技能】 ①地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について理解しており、地理的技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ②地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査	1 多様な地球環境問題 2 熱帯林の破壊への対策 3 地球温暖化への対策 1 さまざまな気象災害 2 気象災害への取り組み		○	○	○	1
合計 70							